

〈小学校 国語 解説〉

設問一

1 解説

趣旨

「話し合いの様子の一部」から、司会者の発言の意図や話し合いの流れを捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

| 問題番号 | 解 答 類 型 | | 正答 |
|------|---------|------------|----|
| 一 | 1 | ウと解答しているもの | ◎ |
| | 9 | 上記以外の解答 | |
| | 0 | 無解答 | |

■正答について

【話し合いの様子の一部】の中で、まず、司会役の川田さんは「どのように家庭学習に取り組んでいますか」と投げかけ、家庭学習の時間の確保の方法と内容の2点で整理し、「この二つのことを提案しますか」とグループの意見をまとめている。そして、「家庭学習の時間をどのように確保していますか」「家庭学習の内容について意見はありませんか」と観点を示して意見を求めている。家庭学習の取組について、問題点となることは挙げられておらず、そのための解決方法を求めているので、この【話し合いの様子の一部】での司会の役割として当てはまらないものはウである。

2 学習指導に当たって

○ 司会の役割を理解し、意図を捉えながら話し合いの観点を整理する

目的や意図に応じて計画的に話し合うために、司会は重要な役割をもつ。特に、話し手の発言を受け止め、観点を明確にしていくことが重要である。そのために、司会役には、まず発言内容をよく聞き、話し手の考えの中心を捉えるように指導する。さらに、複数の発言内容について、それぞれの立場や見解を分類・整理するなどして適切な観点を設定するように指導することも大切である。各教科等との関連も図りながら、全員が司会の役割を経験する機会を設けるなどして、具体的に指導することが重要である。

設問二

1 解説

趣旨

目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年・第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

書く能力

解答類型

| 問題番号 | 解答類型 | 正答 |
|------|--|----|
| 二 | (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 二つの方法のよい点を、 2 内容 の書き方を参考にして書いている。 ② それぞれのよい点について、50字以内で書いている。 ~~~~~ (正答例) ア 短い時間で分ける場合 習い事などの自分の都合に合わせてことができ、学習する時間を確保しやすいというよさがある。 イ 60分続ける場合 生活表を作って、計画的に時間を使うようにしたり、生活時間を見直したりすることができるよさがある。 | |
| 1 | 条件①、②を満たしているもの | ◎ |
| 2 | 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの | |
| 3 | 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの | |
| 9 | 上記以外の解答 | |
| 0 | 無解答 | |

■正答について

60分以上の家庭学習の時間を確保する方法として、「短い時間で分ける場合」と「60分続ける場合」の二つが見出しに挙げられている。それぞれのよさについての発言は、「自分の都合に合わせてられる」「時間を確保しやすい」「時間を計画的に

使うようにする」「生活時間を見直すことができる」であり、それらを条件に合わせて書く必要がある。

2 学習指導に当たって

○ 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く

読み手に分かりやすく伝えるためには、具体的な事実を基にしたり、複数の内容を関係付けたりしながら、必要な内容を整理して簡潔に書くことが重要である。

本問のような提案書や新聞、リーフレット等を書くときには、見出しを付け、具体的な事実と自分の感想、意見等を区別しながら、読み手に必要な内容を分かりやすく伝えるように整理して書くように指導する。目的や意図に応じて要点をまとめて書く学習活動を工夫し、国語科だけでなく、各教科においても、意図的、計画的に設定することが大切である。